茅ケ崎市立香川小学校の特色

教育信条　：＜慈しんで育てる＞

“共に暮らす喜び
共に学ぶ喜び
共に育つ喜び”　のあふれる学校

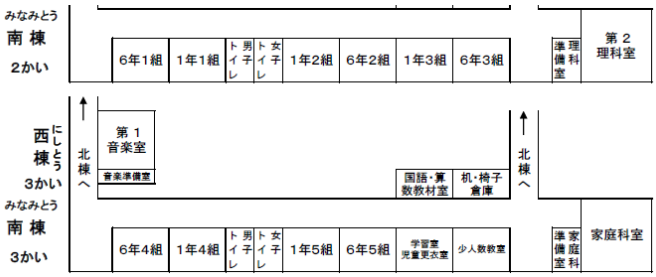
教育目標：《自分らしさを大切にし、互いを認め合う子どもの育成》

「自律」　と　「共生」

めざす子ども像：　“ともに考える子”　“互いに思いやる子”
“みんなでチャレンジする子”　“最後まであきらめない子”

魅力１：異学年交流（6年生との交流）

生活の中での自然な異学年交流ができるように、教室の配置を工夫しています。本年度は、南棟２・３階に１年生と６年生が交互に並んでいます。北棟２・３階は２年生と５年生が交互に並んでいます。学校生活の中で自然な交流が芽生えています。子どもたちにとって、貴重な体験の機会になっています。

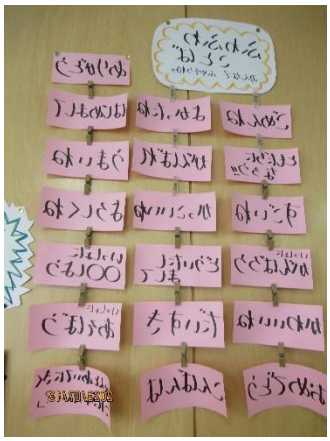


「１年生と仲良くなろう週間」という期間もあります。上級生の各クラスが休み時間、１年生と仲良くなるために遊びを計画して実施します。１年生の楽しい声が校庭に響きます。

魅力２：みんなが気持ちよく過ごせる学校づくり

毎年６月に全校一斉に同じテーマで道徳の授業を行い、クラスで話し合いました。授業で学んだことを日常生活で具体的にどのようにいかしていくのかが大切です。自分と向き合い、主体的に行動することを支援しています。

“いじめをなくそうキャンペーン”という活動にも取り組み、「自分がされていやなことはしない」「相手の立場に立って考える」等、思いやる気持ちや善悪を判断する力を育てています。



魅力3：子どもたちの主体性を伸ばす集会活動

　毎週木曜日の昼休みを４０分間とし、子どもたちの遊ぶ時間を充実させています。そのうち数回を使って、集会委員会の児童が楽しいイベントを企画し、全校児童が楽しめる活動を実施します。
☆玉入れ大会　☆おにごっこ大会　☆ドロケイ・鬼ごっこ
☆紙飛行機大会　☆くつとばし大会　☆長縄大会　など
　子どもたち自身が企画した楽しい活動を通して、「つながり」を深めています。

魅力4：読書活動に力を入れています

〇朝学習の中で読書活動

　本校では、８時３５分から４５分まで「朝学習」という短時間学習時間を設定し、国語や算数等に取り組んでいます。その中で、読書活動も教育活動として位置づけ取り入れています。保護者のボランティア・担任や担任以外による読み聞かせ等も行っています。

〇ブックトークや夏のお話し会

　読書への興味・関心を高めるために、各クラス年間２回、読書活動協力員の先生によるブックトークを行っています。夏休み期間には数日図書室を開館し、お話し会を行っていましす。
　また、PTA の図書サークルの方々が、１年生を対象にした「お話し会」を開催しています。

魅力5：香川の森

　校地の外周に沿ってたくさんの木が植えられていますが、とりわけ体育館の南側の一角は「香川の森」と呼ばれる緑豊かな場所です。桜はもちろん、欅(ケヤキ)や桐(キリ)などの大木が、四季折々の姿を見せてくれ、子どもたちの学びや遊びを支えてくれています。

　桜の木の下で、写生をする子どもたち。
香川の森を中心に桜の木や、八重桜の木がたくさんあり、春は見事に咲き誇ります。